

## 第2節 光構内の立会調査

### 1 教育学部附属光学校給食室改修工事に伴う立会調査

**調査地区** 光構内

**調査期間** 平成10年 7月31日

**調査面積** 約5.2m<sup>2</sup>

**調査結果** 教育学部附属光学校給食室改修工事に伴い、立会調査を実施した。対象となった掘削工事は階段・スロープ新設箇所<sup>1)</sup>で、掘削深度は現地表下約50～81cmである。調査の結果、掘削箇所はいずれも造成土の範囲内で、埋蔵文化財に支障はなかった。

調査区周辺は大正年間から師範学校等の校舎が存在した箇所であり、その後の調査でも攪乱が著しいことが確認されている。このため、古墳時代・近世を中心とする遺構については破壊を受けており、埋蔵文化財が存在する

可能性は低い。しかし、地点によっては遺構が残存しているほか、造成土内に遺物が含まれている可能性があることから、掘削工事に際しては、埋蔵文化財の保護に慎重な対応が求められる。

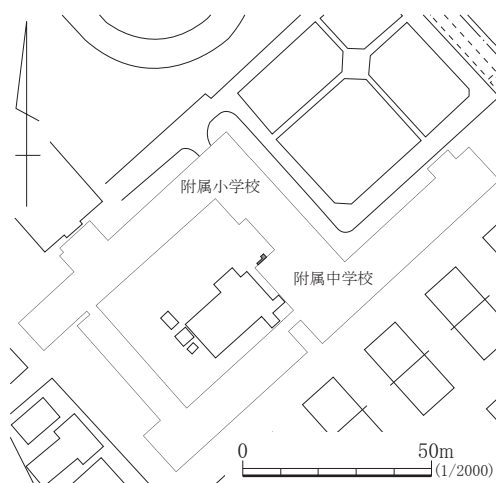


Fig.84 調査区位置図

[注]

- 1) 山口大学埋蔵文化財資料館「教育学部附属光学校下水道接続工事に伴う本発掘調査・立会調査」『山口大学埋蔵文化財資料館年報—平成24年度—』、2016年)